

八百津町再生可能エネルギービジョン

～太陽エネルギーと木質バイオマスによる発電と熱利用～

八百津町では、地方創生加速化交付金の交付を受け地域の資源を上手に活用し、国際的にも問題となっている地球温暖化の防止に寄与するとともに、「住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち」として次世代に繋いでいくため、再生可能エネルギー導入量の増加、エネルギー自給率の向上、CO2排出量の削減を目標とした「八百津町再生可能エネルギービジョン」を策定しました。

将来像

住みやすく・観光客が訪れる・魅力あるまち 八百津

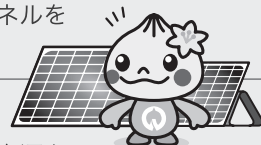
八百津町の地域資源を活用した100%エネルギー自給自足のまちづくり

再生可能エネルギーの活用における 基本方針と利活用策

創 基本方針1 エネルギーを創る

■ 太陽エネルギーによる発電・熱利用

民間施設、公共施設、耕作放棄地、空地等に太陽光・熱パネルを設置し、発電・熱利用を行います。



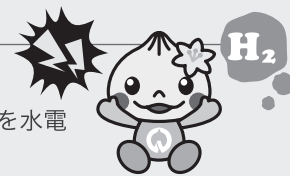
■ 木質バイオマスによる発電・熱利用

小型の木質バイオマス発電設備を導入し、地域由来の木材資源をエネルギー源に発電・熱利用を行います。

蓄 基本方針2 エネルギーを蓄える

■ 蓄電池の導入

再生可能エネルギーを効率よく利用するために、余剰電力を蓄える設備として導入します。



■ 水素製造・貯蔵設備の導入

再生可能エネルギーを効率よく利用するために、余剰電力を水電解により水素に変換し貯蔵する設備として導入します。

利 基本方針3 エネルギーを利用する

■ 木質バイオマス設備の導入

木質バイオマスを燃料とするボイラーやペレットストーブを民間・公共施設等に導入し、暖房・給湯に利用します。



■ EV(電気自動車)・FCV(燃料電池自動車)の導入と普及に向けたインフラ整備

公共から民間にわたってEV・FCVの導入を促進します。なお、EV・FCVは蓄電の機能も持っているため、災害時の電力源としても利用できます。

■ 燃料電池の導入

水素をエネルギー源とする燃料電池を民間・公共施設等に導入し、電気・熱の利用を行います。使用する水素は再生可能エネルギー由来を基本とします。

■ エネルギーマネジメントシステム(EMS)の導入

再生可能エネルギーによる不安定な電源を効率よく活用し、エネルギーの需要と供給のバランスや逆流による電力品質への影響を解決するシステムを導入します。

■ 熱電併給システムの導入

木質バイオマス発電や燃料電池により発電・熱利用したエネルギーを他の施設に供給するシステムを導入します。